

国産材産地と大市場を一気通貫

SSDプロジェクト



SSDプロジェクトは、球磨森林組合が連携する国産材は、木材・建材大手販し、地元自治体からは丸太は、伐採社である紅中と熊本県湯前町と水上村が企画後、専用の熱処理産地が共同で商品開発力産地を検討したが、70以上・40時間を進め、素材生産から材質、さらに商品開発を自安に丸太の製材加工、需要家への市場開拓に対する熱まなま熱処理し製品販売まで、産地と意を評価、素材生産、て、反り・曲が市場を直結させた協業製材・加工、プレカットりの原因となる事業モデルだ。紅中、ト、物流、市場開拓・内部応力を緩和球磨プレカット、九州販売のすべてを一気通させてから、製材工場に投入、製材、ことから、無節の平角養生、仕上げ乾燥、グ採取もでき、化粧梁にレーディングを経て近も適している。紅中が設計面でも対応しやす



球磨杉KKD平角を現し工法で使用した

「機械等級により、無等級に比べて正確な強度を確認でき、構造設計面でも対応しやす

このほど手掛けた木造分譲耐火要件では、45のJAS機械等級区分構造用製材に対する関係は高く、国産材構造材で構造計算でき、耐震性能に優れた長期優良住宅で差別化を図る

「増えつつある」(中村会長)と語る

年々増加する国産材材用、サーモサイディング、サーモサイディング、高耐久ムク外装材としての付加価値がある。同様に造作材メーカーと連携、システム階段、幅木、回縁、枠材、建具などもOEM商品化している。こうした重層的な取り組みもほかで必要があったと指

「機械等級により、無等級に比べて正確な強度を確認でき、構造設計面でも対応しやす

このほど手掛けた木造分譲耐火要件では、45のJAS機械等級区分構造用製材に対する関係は高く、国産材構造材で構造計算でき、耐震性能に優れた長期優良住宅で差別化を図る

「増えつつある」(中村会長)と語る

年々増加する国産材材用、サーモサイディング、サーモサイディング、高耐久ムク外装材としての付加価値がある。同様に造作材メーカーと連携、システム階段、幅木、回縁、枠材、建具などもOEM商品化している。こうした重層的な取り組みもほかで必要があったと指



構造材はすべてJAS機械等級区分構造用適合材を使用する

「増えつつある」(中村会長)と語る

年々増加する国産材材用、サーモサイディング、サーモサイディング、高耐久ムク外装材としての付加価値がある。同様に造作材メーカーと連携、システム階段、幅木、回縁、枠材、建具などもOEM商品化している。こうした重層的な取り組みもほかで必要があったと指

SSDプロジェクトは、球磨森林組合が連携する国産材は、木材・建材大手販し、地元自治体からは丸太は、伐採社である紅中と熊本県湯前町と水上村が企画後、専用の熱処理産地が共同で商品開発力産地を検討したが、70以上・40時間を進め、素材生産から材質、さらに商品開発を自安に丸太の製材加工、需要家への市場開拓に対する熱まなま熱処理し製品販売まで、産地と意を評価、素材生産、て、反り・曲が市場を直結させた協業製材・加工、プレカットりの原因となる事業モデルだ。紅中、ト、物流、市場開拓・内部応力を緩和球磨プレカット、九州販売のすべてを一気通させてから、製材工場に投入、製材、ことから、無節の平角養生、仕上げ乾燥、グ採取もでき、化粧梁にレーディングを経て近も適している。紅中が設計面でも対応しやす



事前に丸太を熱処理し応力等を緩和させる

機械等級JASで品質根拠を確保

国産材産地と大市場を直接結び、国産材時代に呼応した事業モデルが徐々に立ち上がっている。東京都港区が推進するみなとモデルはその典型だ。だが、民・民の事業でも、民間だからとできる市場ニーズを的確に反映した事業モデルが示され、国産材需要拡大の新たな推進力を予感させる。

紅中(大阪府、中村晃輔社長)が取り組む国産材品質表示推進協議会SSDプロジェクト(中村暢秀会長)は10年前、木材品質へのこだわりを通じた国産材産地と大消費地の地場ビルダーとの連携による、直結供給体制の構築を目指して事業を立ち上げた。一昨年、品質が明確なJAS機械等級区分構造用製材の供給を開始し、本格的な実績積み上げの段階に入った。中村会長は「木材の良さを最大限に生かしながら品質を保証して(建材化する。産地も市場も単独では困難な取り組みが、農商工連携で協業することにより、多様な可能性を見いだせるようになった」と語る。

中・大型木造建築でも実績 中村 会長



地産都消を目指した一気通貫のブランド化ビジネスモデルとして、球磨杉Jポスト&ビームJAS機械等級区分構造用製材を軸に10年掛かりで構築した。SSDの産地である熊本県の上球磨地域は人口7,000人弱の地域ながら、年間素材生産量13万㎡を誇る林業隆盛地域だ。しかし搬出実績が増えても林家の実質収入は減っている。私たちは球磨杉Jポスト&ビームの成果と実績を重ねて、製材向け需要を拡大することが山元への還元につながる。林業・木材産業を基幹産業とする地域の活性化に貢献できると考える。

国産材製材の普及促進には、需要家に対する安全・安心を提供して信頼を勝ち取ることが必須だ。10年前、明確な根拠に基づく「品質保証供給」の実現に向け、体制構築に着手した。

構造材分野で国産材の普及促進を図る

には、根幹となる品質性能を明確に表示することが求められる。国交省営繕部は、公共建築物等木材利用促進法に基づく木造計画・設計基準検討会で、許容応力度計算以上の構造計算、原則JASを盛り込んでいる。

国産製材品のJAS供給を阻んできた主要因は、選別で発生する経済的諸問題、すなわち、歩留まり率の低下によるコスト上昇が現実的販売価格の設定を困難にしていた点にある。SSDプロジェクトでは、木材乾燥法をはじめ、従来の製材品製造法を見直すことで品質を確保し、生産・流通システムの改善により現実的な価格でJAS機械等級区分構造用製材供給を実現。構造計算を必要とする中・大型規模施設案件でも明確な根拠に基づき対応できるようになった。

JAS機械等級区分構造用製材

SSD球磨杉Jビーム

丸太状熱処理が可能にした杉平角芯去り製材

- 品質性能基準 E-70以上・SD20以下
- 芯去り製材による杉平角の高強度化
- 節・干割れ・変色抑制の高意匠性能
- バイオマスによる圧倒的低炭素製造
- JAS選別材ながら現実的価格を実現

国産材品質表示推進協議会:SSDプロジェクト
熊本県上球磨産材地産都消一気通貫ビジネスモデル

株式会社 紅 中・球磨プレカット株・九州横井林業株
北辰物流エンジニアリング株・湯前木材事業協同組合
上球磨森林組合・熊本県球磨郡湯前町・水上村

ウッドデザイン賞受賞
JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2015

球磨プレカット株式会社本社工場

球磨プレカット株式会社本社工場

新規開発:丸太状熱処理併用複合乾燥法 杉芯去り平角製材